

「日限山小学校・南舞岡小学校」 通学区域と学校規模適正化等 検討部会ニュース

第2号

発行日：令和5年1月16日
発行元：「日限山小学校・南舞岡小学校」
通学区域と学校規模適正化等検討部会
(事務局：横浜市教育委員会事務局学校計画課)

第2回検討部会
日時：令和4年12月8日(木)
10時00分から
会場：日限山地域ケアプラザ
多目的ホール1



はじめに

現在、南舞岡小学校は一般学級数が9学級の小規模校となっており、今後も小規模校の状態が継続する見込みです。そのため、「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会において、隣接する日限山小学校との間で、南舞岡小学校の規模適正化に向けた具体的な対応を検討しています。12月8日(木)に第2回検討部会を開催しましたので、検討状況等について、保護者の皆様や両校の通学区域内にお住まいの皆様にお伝えします。

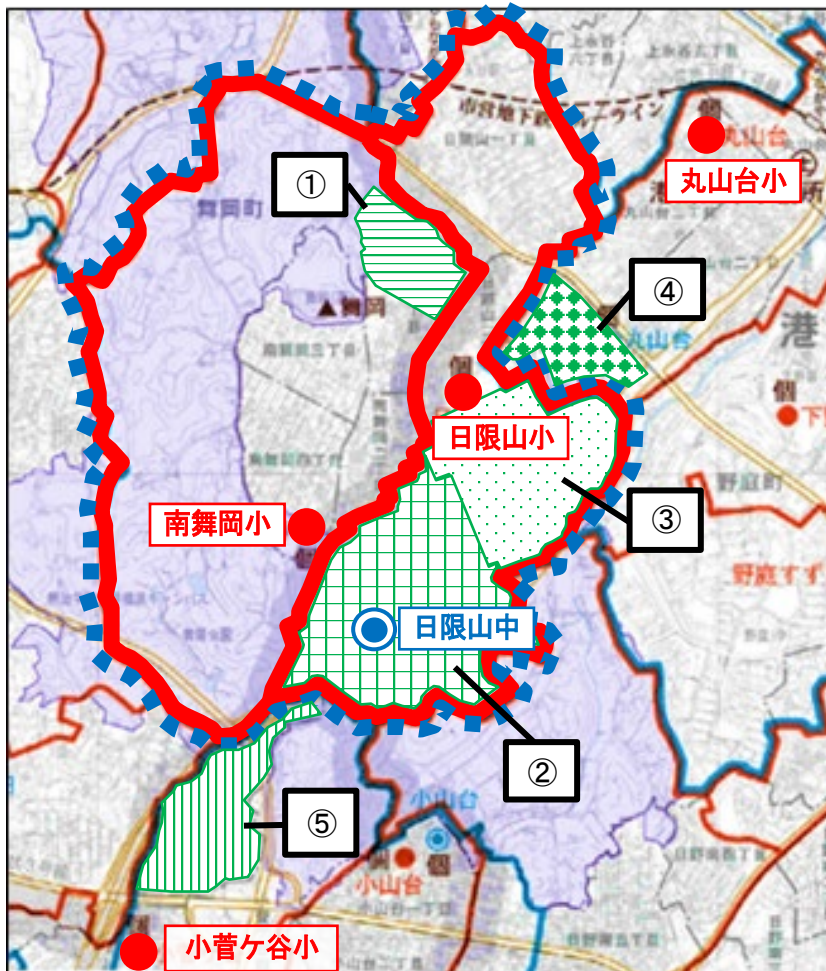
第2回検討部会の決定事項など

- ・南舞岡小学校の規模適正化に向けた具体的な対応として、事務局から新たに2つの検討事例(通学区域調整の範囲を広げた場合)を提示しました。
- ・第1回検討部会での検討内容を踏まえ、各所属団体からの意見報告がありました。
- ・第3回検討部会では、引き続き、南舞岡小学校の規模適正化に向けた具体的な対応を検討することになりました。

1 南舞岡小学校の規模適正化に向けた検討事例

第1回検討部会で提示した4つの検討事例に加えて、事務局から新たに2つの検討事例(通学区域調整の範囲を広げた場合)を提示しました。

<検討事例 参考地図>



※第1回検討部会において、永野小学校との通学区域調整が提案されましたが、南舞岡小学校と通学区域が接していないため、調整は困難です。

【凡例】

小学校	●
中学校	◎
小学校通学区域	—
中学校通学区域	- - -
対象区域①	▨
対象区域②	▩
対象区域③	▩
対象区域④	▩
対象区域⑤	▩

検討事例1（再掲）

南舞岡小学校通学区域のうち、南舞岡一丁目（対象区域①）における特別調整通学区域（※）の設定を解除し、日限山小学校を選択することをできなくした場合。

（※）特別調整通学区域…入学時に指定校と受入校のいずれかを選択することができる制度。

〈児童数・学級数の推移（シミュレーション）〉

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	400	380	359	339	321
	学級数	14	13	13	13	12	12	12
南舞岡小	児童数	207	198	203	194	215	206	202
	学級数	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>10</u>	<u>9</u>	<u>10</u>	<u>9</u>	<u>9</u>

〈効果と課題〉

- ・南舞岡小学校の児童数は増えるが、小規模校の状態は解消されない。

※R4は令和4年5月1日時点の実数値。

R5以降はR4実数値を反映してシミュレーションした数値（一般学級のみ）。

※段階的な35人学級の導入を反映。

※下線部分は小規模校（小学校は一般学級数で11学級以下）となっていることを示す。

※検討事例2～6についても同様。

検討事例2（再掲）

検討事例1に加えて、日限山小学校通学区域のうち、日限山四丁目（西洗自治会）及び上永谷町の一部の地域（対象区域②）を、南舞岡小学校に通学区域変更した場合。

〈児童数・学級数の推移（シミュレーション）〉

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	395	365	334	309	288
	学級数	14	13	13	13	12	12	12
南舞岡小	児童数	207	198	207	208	239	236	234
	学級数	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>11</u>	<u>10</u>	<u>10</u>

〈効果と課題〉

- ・南舞岡小学校の児童数は増えるが、小規模校の状態は解消されない。

検討事例3（再掲）

検討事例1に加えて、日限山小学校通学区域のうち、日限山三丁目、日限山四丁目及び上永谷町の地域（対象区域②③）を、南舞岡小学校に通学区域変更した場合。

※現在の日限山小学校通学区域のうち、下野庭小学校との特別調整通学区域の設定は継続。

〈児童数・学級数の推移（シミュレーション）〉

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	381	336	290	258	224
	学級数	14	13	13	12	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>9</u>
南舞岡小	児童数	207	198	221	237	281	284	294
	学級数	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>11</u>	<u>11</u>	<u>11</u>

〈効果と課題〉

- ・南舞岡小学校の児童数は増えるが、小規模校の状態は解消されない。
- ・日限山小学校が令和8年度から小規模校となる。

検討事例4（再掲）

日限山小学校と南舞岡小学校を統合する場合。
 ※現在の日限山小学校通学区域のうち、下野庭小学校との特別調整通学区域の設定は継続。

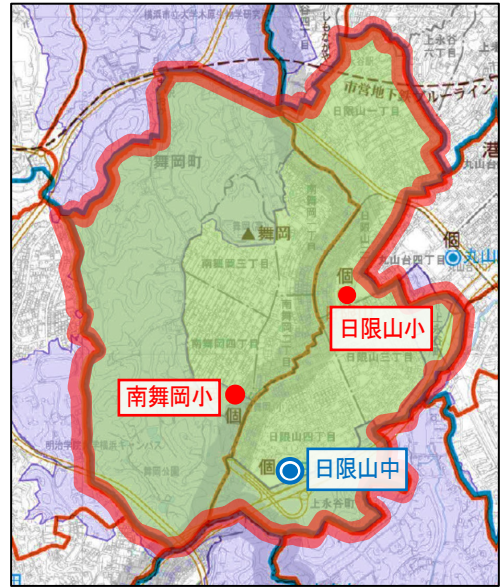
〈児童数・学級数の推移（シミュレーション）〉

※令和7年度に学校統合する場合

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
児童数	—	—	—	574	574	546	524
学級数	—	—	—	18	18	18	18

〈効果と課題〉

- ・ 統合校の学校規模は適正規模となる。
- ・ 統合校の使用校舎や学校名の検討が必要となる。
- ・ 閉校する学校施設の後利用の検討が必要となる。
- ・ 学校統合に伴い、通学距離が長くなる地域が生じる。
- ・ 学校統合に向けて、児童等の交流などの準備期間が必要となる。



検討事例5

検討事例1に加えて、以下の区域を南舞岡小学校に通学区域変更した場合。

- ・ 日限山小学校通学区域のうち、日限山三丁目、日限山四丁目、上永谷町（対象区域②③）
- ・ 丸山台小学校通学区域のうち、丸山台四丁目、上永谷町（対象区域④）

※現在の日限山小学校通学区域のうち、下野庭小学校との特別調整通学区域の設定は継続。

〈児童数・学級数の推移（シミュレーション）〉

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	381	336	290	258	224
	学級数	14	13	13	12	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>9</u>
南舞岡小	児童数	207	198	223	245	292	296	311
	学級数	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>11</u>	<u>11</u>	<u>11</u>
丸山台小	児童数	320	309	286	264	252	244	231
	学級数	12	12	<u>11</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>

〈効果と課題〉

- ・ 南舞岡小学校の児童数は増えるが、小規模校の状態は解消されない。
- ・ 日限山小学校が令和8年度から小規模校となる。
- ・ 丸山台小学校が令和6年度から小規模校となる。
- ・ 中学校の通学区域変更の検討が必要となる。

検討事例6

検討事例1に加えて、以下の区域を南舞岡小学校に通学区域変更した場合。

- ・ 日限山小学校通学区域のうち、日限山三丁目、日限山四丁目、上永谷町（対象区域②③）
- ・ 丸山台小学校通学区域のうち、丸山台四丁目、上永谷町（対象区域④）
- ・ 小菅ヶ谷小学校通学区域のうち、本郷台五丁目（対象区域⑤）

※現在の日限山小学校通学区域のうち、下野庭小学校との特別調整通学区域の設定は継続。

〈児童数・学級数の推移（シミュレーション）〉

※令和6年度の新1年生から対象とする場合

学校		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
日限山小	児童数	447	415	381	336	290	258	224
	学級数	14	13	13	12	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>9</u>
南舞岡小	児童数	207	198	226	253	306	315	333
	学級数	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>11</u>	<u>11</u>	<u>11</u>
丸山台小	児童数	320	309	286	264	252	244	231
	学級数	12	12	<u>11</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>	<u>10</u>
小菅ヶ谷小	児童数	474	448	408	404	381	352	329
	学級数	16	15	14	14	13	12	12

〈効果と課題〉

- ・ 南舞岡小学校の児童数は増えるが、小規模校の状態は解消されない。
- ・ 日限山小学校が令和8年度から小規模校となる。
- ・ 丸山台小学校が令和6年度から小規模校となる。
- ・ 中学校の通学区域変更の検討が必要となる。
- ・ 本郷台五丁目から南舞岡小学校までは通学安全上に課題があり、対策が必要となる。

2 検討部会に寄せられた意見及び質問等（凡例 ◆：意見・質問 ⇒：事務局からの回答）

※お寄せいただいた御意見等は全て検討部会に報告しました。なお、紙面の都合上、抜粋・要約して掲載しています。

◆ 小規模校の課題は統合しなくても全て見直せると思います。学校の仕事は見直せばいくらでも削れます。子どもと向き合う時間はいくらでもつくれます。児童数が少なくても意欲が高まる学習方法があります。いろいろな人の意見を聞く場も交流教育の場をつくるなど方法はいくらでもあります。統合せずにできる方法を考えてください。検討する際は以下についても考えてください。

・ 横浜市の適正な学校規模の基準は、昨今の横浜、日本、ひいては世界を見据えて、子どもたちの成長に本当にあてはまるのか。横浜市の基準の適正な学校規模の考え方から変えてください。

・ 小規模特認校として考えられないか。この土地はそれを行うに適していると思います。

最先端横浜市の小学校として、新たな考え方、新たな解決方法を模索していただきたいです。

⇒ 適正な学校規模の考え方については、国における「学校教育法施行規則」や「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」にて考え方が示されており、小学校では全学年でクラス替えが可能な12学級以上を確保することが望ましいとしています。横浜市では、「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」に基づき通学区域及び学校規模の適正化に努めており、この基本方針の中で適正な学校規模の考え方について定めています。なお、現行の基本方針の策定にあたっては、市民意見募集による市民の皆様からの御意見に加え、学識経験者や保護者代表、地域代表、学校関係者等からなる「横浜市学校規模適正化等検討委員会」において審議され、同委員会の答申に基づき教育委員会に諮り、策定されました。いただいた御意見は、次回の検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。

◆ 小規模校にもメリットはあるのに、統合したら小規模校の良さがなくなってしまいます。横浜市がこの地域に人を増やすようなまちづくりの施策を検討するべきです。

⇒ 検討部会には関係課も出席しており、まちづくりに関していただいた御意見も共有しています。

◆ 既に高齢化が顕著な南舞岡から小学校がなくなると、さらに高齢化が加速すると思います。これから小学校に上がる世帯は、転居すらあり得るかもしれません。働き方も自由になり、どこでも働きやすくなった時代だからこそ、地域のつながり、継続性をきちんと維持できないと、この地域から人がどんどん減っていってしまうのではないかと、不安でなりません。廃校とは別の選択をとっていただくことを強く願っています。また、小規模校の課題について、日限山小学校と統合するほうがより顕著になってしまうのではないかと感じる点があります。

<児童の視点から見た課題について>

この地域では中学校は日限山中学校1校で、中学校に上がるタイミングで別々の小学校から混ざり合うことが、新しい人間関係構築の機会となっています。もし統合して1小1中になると、人間関係の固定化はますます進んでしまう恐れがあると思います。また、運動会については、現状でも競技は十分充実していると感じます。むしろ、できなくなる競技が本当に必要な競技なのか、適正な規模と運営を考える必要があるのではないのでしょうか。

<教職員の視点から見た課題について>

南舞岡小学校の教職員からどのような声があがっているのか、具体的に示していただく機会があると納得感がありますが、ニュースに掲載されている課題は一般的な考えに見えるため、この地域の問題としてあげることなのか疑問です。

<PTA・保護者の視点から見た課題について>

PTAはその学校の規模に合わせた適切な活動の規模があるはずで、固定化するのは会員数が問題なのではなく、決め方や活動負荷に起因しているのではないのでしょうか。また、文部科学省から、地域課題の解決に向けた、地域と学校の連携・協働という指針が示されており、保護者だけでなく地域で学校教育をつくっていくというプランが示されています。学校行事を単なる保護者への負担と捉えるのではなく、地域の活動として捉え直すなどの観点が必要と感じました。

⇒ いただいた御意見は、次回の検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。

- ◆ 学校規模適正化という考え方は効率化の観点では理解しますが、過去の経緯や学校教育や地域社会の在り方を含めた整理も重要だと思います。また、減少幅が大きい日限山小学校の対策として、港南区の隣接区域を含めて幅広く検討してもらいたいです。もし両校の統合という形になるとしても、そこに至るまでの移行措置についても幅広い観点から検討していくべきです。統合にあたっては、学校の位置や通学距離だけではなく、交通環境の配慮、学校施設の規模や環境、運動場の広さ等の観点も含めて、幅広く検討をするべきです。また、都市計画や土地法制の改正を踏まえ、新たな人口流入等も加味していくべきだと思います。検討部会である程度論点が整理されたら、地域住民が参加して意見表明できる公聴会や集会の開催についても検討してください。
- ⇒ いただいた御意見は、次回の検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。
- ◆ 「南舞岡小学校は舞岡小学校と統合すればいい。日限山小学校を何も変えずなくさないでほしい。」というご意見を読んで、非常に悲しい気持ちになりました。統合すれば新しい学校になるので、日限山小学校だけ変わらずそのままというわけにはいきません。住民がこんなに反対している中で統合を進めれば、地域の亀裂が大きくなっていくのではないかと不安です。この地域には活用できる土地がたくさんあり、子育てに非常に環境の良い地域なので、それらを活用すれば人口増加も望めます。両小学校が存続していく方向で検討を進めていただくことを強く望みます。
- ⇒ いただいた御意見は、次回の検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。
- ◆ 会議録を公開してください。「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」はコロナ前の平成30年度に改定されたとのことですが、今の時代とはニーズが大きく変わっています。小規模校対策を考える前に、この基本方針を再議論するべきです。また、通学区域の変更を検討して難しい場合でも、小規模校の課題解決方法を見いだせば独立して存続可能ということだと思います。ぜひ独立して学校を存続させる方向で今後どうするかを考えていただきたいです。
- ⇒ 第1回の検討部会におきましては、会議を非公開とすることを部会委員に御判断いただきましたので、会議録の議事を一部非公開としています。いただいた御意見は、次回の検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。
- ◆ 「横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針」はコロナ前の平成30年に改定されたとのことですが、3密回避が常識の現代にはもう既に通用しません。学校を統合して密集した状態にしたら大切な児童の命が脅かされるのは明白です。小さい規模の学校は貴重なのでそのまま存続させるべきです。また、個別支援学級は児童の障害の特性やその度合いと人数によって、担任の数やクラス数が決められるので、学校規模を考える際にはそのまま一般学級と数を足したほうがフェアなのではないかと思います。以上の2点を考えても基本方針は現状には合いません。適正な学校規模の考え方の見直しを行い、個別支援学級の考慮を盛り込んだものへ変えてください。在校生が0でも新入生が0でもないのに統合はおかしいです。近い将来、横浜特別自治市になれば教育費もアップすることを期待して、持ちこたえてほしいです。
- ⇒ いただいた御意見は、次回の検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。
- ◆ 個別支援学級と一般学級を分けて学校規模を考える理由がよく分かりません。南舞岡小学校では、個別支援学級の子どもも朝礼から一般学級の子と一緒に参加し、教材も一般学級と同じもので、同じ内容を学習させているのに、なぜ学級数を数えるときに分けられてしまうのか分かりません。市内で見てもこれほど積極的な交流をしている学校はないのではないのでしょうか。統合となって、こういった取組が失われてしまうのは大きな損失だと思います。個別支援級の取組を市全体に広げていく一つのモデル校として、存続させてもらいたいです。また、小規模校の課題解消に向けて何らかの方策があれば、統合しないという結論もあり得るのでしょうか。例えば、東戸塚小学校の近くで新しいマンションが開発されて、児童数がとても増えているという話も聞きます。そういったところも検討の範囲に含めることはできないのでしょうか。幅広く検討して、ぜひ南舞岡小学校を存続できるようにしてもらいたいです。
- ⇒ いただいた御意見は、次回の検討部会で報告し、検討の参考とさせていただきます。

<検討事例に関すること>

- ☆ 南舞岡小学校側からすると、規模適正化のために、日限山小学校が小規模校になったり、日限山小学校の児童に影響が出てしまったりするのは、非常に忍びなく、複雑な気持ちです。
- ☆ 所属団体の中では「統合以外の手法で考えられないか」という意見が多く寄せられました。統合が嫌ということではなく、どのような形で統合するのか分からないので、学校がなくなってしまうのではないかという不安から、学校を残したいという気持ちがあるようです。
- ☆ 統合する労力や大変さを思うと、どのようなプランをとってもそんなにメリットがないのではないかと思います。
- ☆ 検討事例5について、丸山台四丁目と南舞岡小学校との間に、日限山二丁目（日限山小学校の通学区域）があります。通学路にもよると思いますが、日限山小学校の通学区域を抜けて南舞岡小学校に通うのは、現実的ではないと思います。
- ☆ 検討事例6について、本郷台五丁目からの通学は、かなり暗く、人通りが少ない道を抜けてこななければならない、通学安全上に課題があると思います。
- ☆ 日限山中学校は、生徒数が減少傾向にあり、昨年度、部活動が一つなくなりました。子ども達は、中学校に入学する時、部活動を楽しみにしている部分もあります。子ども達が先を見据えて期待している中で、検討事例5・6のような通学区域変更を行うのはどうなのかなと感じます。
- ☆ 検討事例5・6のような通学区域変更をした場合、1つの小学校から複数の中学校に分かれていくこととなります。進学先の中学校で、同じ小学校から来た人数が少ないと、中1ギャップが生まれてしまう懸念があるのではないかと思います。
- ☆ 検討事例5・6は、検討の相手校を日限山小学校に限定しない考えでの事例だと思いましたが、丸山台小学校や小菅ヶ谷小学校の立場からすると突然降ってきた話だと思えます。学区は隣接していますが、学校の理解や通っている保護者の心情などを考えると、少し無理がある事例だと感じます。
- ☆ これだけたくさん検討事例が提示されましたが、通学区域の見直しでは規模の適正化は難しいのではないかと思います。
- ☆ 日限山中学校の周辺地域では、南舞岡小学校の前を歩いて日限山小学校に通っている児童もいるので、通学区域の変更で解決するのが一番良いのではないかと思います。
- ☆ 第1回検討部会ニュースの内容について、所属団体の中でオンラインのアンケートを行いました。アンケートは約1,000世帯あるうち180世帯に対して行い、そのうちの3分の1の58世帯から回答がありました。割合としては、統合に賛成という回答が21%、それ以外の回答が79%となり、統合以外の手法で問題解決を図りたいという意見が多かったようです。
- ☆ 「現状のままで良い」「統合は絶対反対」ということではなく、小規模校からの脱却を図るため、具体的な方法をさらに検討し、隣接していない通学区域を含めて、広い範囲での学区調整を検討してもらいたいという意見がありました。
- ☆ 東戸塚小学校は、マンション開発により1,000人くらいの児童が通っていて、地域の中でもこの問題について話し合いが行われています。検討事例1にあるように、南舞岡一丁目の特別調整通学区域の方は、同じ戸塚区の南舞岡小学校に通っていただき、東戸塚小学校の推移を見ながら解決を図れたら良いのではないかと思います。

<学校の特長や課題に関すること>

- ☆ 南舞岡小学校は、小規模校であることや、舞岡公園がすぐ隣にあるという立地から、自然に密着した教育ができるという魅力的な特色があります。例えば、総合の授業で、セイタカアワダチソウという外来種を抜く活動に取り組みました。自然を守る人たちが真剣に活動している姿を学び、大変素晴らしい学習機会になりました。このように、貴重な自然と密着した教育を受けられることは大変ありがたいと、学校をそのまま存続してほしいという思いがあります。

- ☆ 南舞岡小学校は、この立地だからこそできる自然と密着した教育環境があり、横浜市の中でモデル校としても良いのではないかと感じています。舞岡地区は市街化調整区域を中心に、自然豊かな環境資源を有する地区です。その代表校として、存続してほしいと思います。
- ☆ 自然と触れ合うことで、一番大事な子ども達の情操を養うことができると思うので、舞岡公園が大切だという意見には賛同します。しかし、10人の学級で良いかという、それは少し違うかもしれないと思います。学区を越えて通学しても良いとか、舞岡で勉強したいという人に、ある種の自由度を与えても良いと思うので、教育委員会の方でも考えていただければと思います。
- ☆ 舞岡公園での活動については、日限山小学校でも、米作りや公民館の見学、遠足などで利用しています。舞岡公園という財産を、南舞岡小学校も日限山小学校も同じように活用していると思います。頻度や距離の近さに違いはあるかもしれませんが、日限山小学校も舞岡公園には大変お世話になっています。
- ☆ 南舞岡小学校は、小規模校の状態でも先生方の努力もあって成り立ってきたと聞いています。小規模校の課題があるということを感じさせないような学校づくりをされてきたのだと思います。
- ☆ 多様性が尊重されている中で、学級数だけで判断して、小規模校だからという理由で統合というのは疑問を感じます。小規模校だから多様な個性と触れ合える機会に恵まれにくいとは必ずしも言えないと思います。もし統合して1小1中となり、9年間同じ顔ぶれになると、そのような本来の目的から外れてしまうのではないかと思います。
- ☆ コロナによって、小規模校に対する保護者の考え方も変わっていると思います。この数年、密にならないように頑張ってきたことを思うと、小規模校を課題として受け止めていないのではないかと思います。
- ☆ 小規模校は、教職員の配置や補助金の配当の面でどのような課題があるのか、具体的に知りたいと思います。
- ☆ 南舞岡小学校の児童数が少なくなって、いま何か課題が出ているということなら、何とかしなくてはと思うのですが、小規模校の良さを感じているのに、なぜ規模適正化を図らなければならないのか分からない、というのが所属団体の意見としては一番大きいと思います。
- ☆ 課題がないという学校はないと思います。課題の理由が小規模校であるかどうかということは別にしたとしても、100%保護者が納得して教育活動が進んでいる学校はないのではないのでしょうか。その課題を感じている保護者や子ども達が声をあげているかどうかというところは、不透明な部分もあると思います。
- ☆ 学校教育の中で、授業ほど時間を費やしている活動は他にないので、授業という時間をどのように捉えるかも関係あると思います。授業で先生が子ども達をしっかり見ることは、学校規模に関係なく大切なことだと思いますが、「先生との距離が近い」など、小規模校の良さとしてあげられている部分を、授業をまわすという観点から考えると、難しい面もあるのではないのでしょうか。
- ☆ 1学年に複数のクラスがある学校では、同じ学年の先生が他のクラスに教えに行くなど、交換授業のようなことをしています。もしも、担任の先生と児童の関係が少し行き詰まってしまったとしても、他のクラスの先生達も見ているので、授業という時間を使って多くの先生が多くの子ども達を見ることが出来ます。単級の場合、それができないということが出てくると思います。また、担任の先生が体調不良などで子ども達を見ることができなくなってしまうと、同じ学年に代わりの先生がいなくてという苦しさも出てくるのではないかと思います。
- ☆ もし、自分が小学生で、学校に入学して1クラスだったら、その中で気が合わない子がいたら、自分はどうするのだろう、逃げるところがないな、と思いました。子ども達がいまどのように思っているのだろうということが非常に気になりました。

<基本方針に関すること>

- ☆ 学校規模の基準について、なぜ一般学級と個別支援学級を合わせた学級数に変えないのですか。何年も前の話し合いの中で策定された基本方針と、今の状態が合っていないと思います。
- ☆ 個別支援学級の人数が年々増えていく中で、学校規模の基準に個別支援学級の人数（学級数）を入れないのが不思議です。今後、特別支援教育に力を入れていこうという国の方針があるにも関わらず、おかしいなと思いました。

<その他情報提供・御意見>

- ☆ 日限山小学校と南舞岡小学校の児童や保護者が納得して結論を出すことが一番だと考えています。
- ☆ 南舞岡地区に転入してくる家庭は子ども連れが多いので、シミュレーションより児童数はもう少し増えるのではないかと思います。
- ☆ 日限山地区と南舞岡地区の子ども達は、2つの地域に見守られて育っていると思います。それぞれの良さを生かして、中学校で混ざり合って育ってほしいです。
- ☆ 将来的に子どもの人数が減ると、中学校で部活動が減ってしまうことなども考えられると思います。
- ☆ 成長するにあたっては、小学校をどのように過ごして来たかということが非常に大事だと思います。子ども達が様々なことに安心して取り組めて、中学校に進学できるような環境をつくっていきたいと思います。
- ☆ 南舞岡小学校が設立される際、将来的に高齢者向けの施設になるという噂がありました。当時を知る年代の人は、そういう時代になったのかなと考えていると思うので、反対はしません。賛成しています。ただ、それ以後に南舞岡に転入してきた方は、そのような話は知らない、入った学校だから統合するのは嫌だ、という意見の方が多いと思います。所属団体の中でも、賛成と反対が分かれている状況です。
- ⇒ 現在、南舞岡小学校がある土地は学校用地で、教育委員会の行政財産となっています。仮に、統合して南舞岡小学校が学校ではなくなったとしても、高齢者向けの施設になるというようなことは、一切決定していません。
- ☆ 地方では、全校で数人しかいない学校もあります。規模適正化を図るとするのは、行政の都合で決めていると思います。教育を受ける側の立場を考えるべきだと思います。
- ⇒ いろいろと御意見をいただきありがとうございます。事務局としてお答えしなければならないことについては、次回の検討部会で御説明させていただきたいと思います。

◆第3回検討部会について ※会議は非公開とすることを決定しました。

日時：令和5年2月22日（水）10時00分から 会場：日限山中学校 図書室

検討内容：通学区域と学校規模適正化等

◆「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の検討経過等について

検討部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからも御覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/tekiseika/shokibo/kounantotsuka.html>



◆事務局（お問い合わせ先）

皆様からの御意見や御質問を受け付けております。Eメール、お電話またはFAXでお寄せ下さい。

横浜市教育委員会事務局学校計画課

Eメール：ky-kounan2022@city.yokohama.jp

TEL：045-671-3252

FAX：045-651-1417

